

LPガスCP速報(2021年5月積)

1. 5月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **495** ドル (前月比-65 ドル)

ブタン **475** ドル (前月比-55 ドル)

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油市況が軟化するなか、LPガス需給は、上旬は米国メキシコ湾岸の霧の影響やパナマ運河の渋滞によるカーゴ遅延から高値で推移したが、需要は気温上昇でピークを過ぎ、コロナ感染が拡大するインドの需要が減退、クウェート、カタールスポット販売するなど供給は潤沢で需給は緩和した。極東CFR市況は、月初のプロパン565 ドル 、ブタン545 ドル から第4週にはプロパン510 ドル 、ブタン485 ドル まで下げる場面もみられた。FOB市況もCP先物5月ものは続落、第4週にプロパンの引き合いが高まり反発したが、軟調。

全米プロパンは、輸出、需要ともに堅調、高水準が続いている。大幅に減少した全米プロパン在庫も需要のピークが過ぎ下げ止まり、前年比72%まで回復したが、5年平均レンジのボトムに(グラフ②)。に張り付いたまま。米モンベルビュープロパンスポット価格は原油市況の下落で軟化、月平均では前月比60 ドル 下落の420 ドル/ト どころ(グラフ①)。

フレート市況は、パナマ運河の渋滞解消が進展、中東積み船舶緩和感から第3週以降軟化した。米国向け回船増やインド沖滞船長期化などで船舶余剰感が弱まり前月比平均では15 ドル 以上の反発となった。

ナフサは原油価格に連動推移、560~585 ドル のレンジで上げ下げ、月間平均は570 ドル どころで、前月比24 ドル の下落。

バンカーオイルも原油市況に追随して軟化した。シンガポールIFO380は月間平均で前月比20 ドル 安の382 ドル どころ、LSMGO(低硫黄マリンガスオイル)は同14 ドル 下落の521 ドル どころ、両油種の格差は138 ドル に拡大した。

5月CPは前年同月比プロパン155 ドル 、ブタン135 ドル それぞれ上昇。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン11、ブタン9ポイントそれぞれ下落、100%割れば昨年9月CP以来、原油が暴落した前年同月比ではプロパン126ポイント、ブタン131ポイントそれぞれ低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	51	52	51	49	51
CP先物指標:P	515	500	485	490	498
CP先物指標:B	495	480	455	465	474

② 原油市況等

原油市況をみると、4月WTIは58~63 ドル 台のレンジで比較的穏やかな推移となった。新型コロナワクチン接種が各国で進み、経済正常化、需要回復見込みからOPECプラスは5~7月に段階的に減産規模を縮小することで合意した。米国、中国の経済指標が市況を牽引する一方、欧州、インドの感染拡大によるロックダウン措置の強化など需要はまだら模様となった。米石油リグ稼働数は昨年4月水準まで増加(前年比90.7%)、記録的な寒波により落ち込んでいた原油生産量は1,100万b/d、製油所稼働率は85.4%まで回復、直近4週間の石油製品需要はガソリン(67.5%増)、留出油(24.3%増)、ジェット燃料(89.3%増)など急減した前年を大幅に上回ってきた。CFTC発表の大口投機玉の買越残高は20日時点では500千枚、前月末から31千枚減少、買い建玉は651千枚で前月末比20千枚減少となった。WTIの総取組高は235万枚と前月末から19千枚増加、ヘッジ目的の当業者の建玉が増加している。

○4月積みアラビアン・ライト(4月1~29日までの想定)は64.65 ドル (前月比-0.77 ドル)

熱量等価AL100% プロパン530.06 ドル/ト ブタン522.79 ドル/ト

AL比 プロパン93.39% ブタン90.86%

*上記ALはEIN推計、確定値は後日Webサイトでご確認ください。

なお、28日、29日に原油、LPガス(MB)価格が急騰しています。

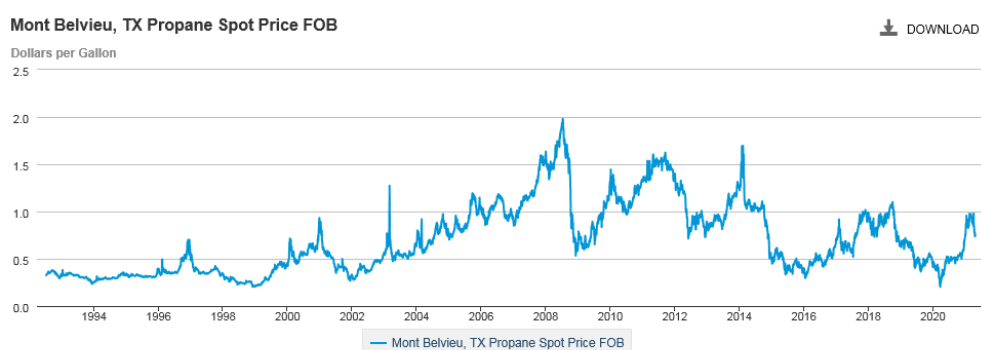
2. 2021年5月LPガス仕切（CP・MBコスト変動分）への影響

適用為替	TTS	P円建CP	B円建CP	MB合成P	P前月比	B前月比	合成P前月比
①20日締め	110.49	64,300	61,500	64,800	-6,000	-5,500	-5,300
②末日締め	110.14	58,100	55,300	58,400	-6,900	-6,400	-6,300

*TTS平均について、①が3月21日～4月20日、②4月1～30日まで。①、②いずれも前月・当月CP50%案分。MB合成の比率は①、②ともにCP70%、MB30%で算定。①は中東・北米フレートを含むCFRコストを②はFOB（北米経費込み）コストを表示。

なお、上記MBは4月28日までの価格を基にEINで試算（433ドル/トン）したもので、メーカー各社の最終確定値とは異なる。また、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定やフォーミュラ見直しもなされるため、仕切等の詳細はWebサイトを参照。

①米MBプロパンスポット価格推移



②全米・メキシコ湾岸（PADD3）プロパン在庫推移

